

# 予測不可能なディスタンス

(人と人の距離)



コンバージョン前

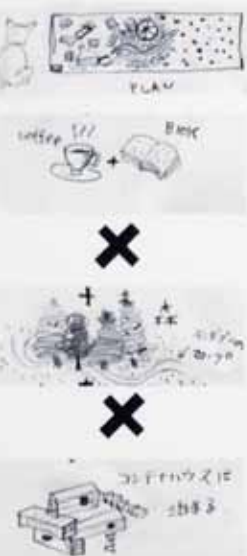


コンバージョン後



壁から見たブックカフェ。日除けのブラインドを開けた状態

ダイアグラム



3種類の性格の異なるゾーンを縦くつなぎ、**森と水壁の交流**を大切にしました。

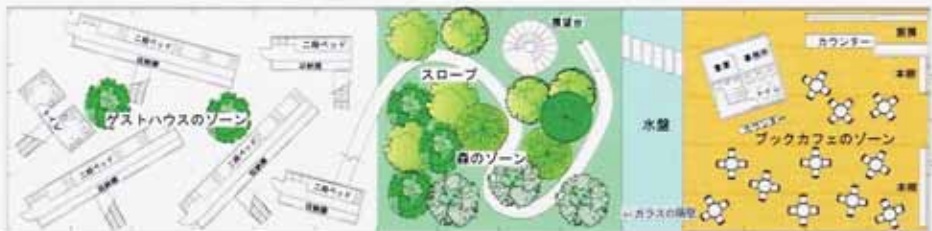
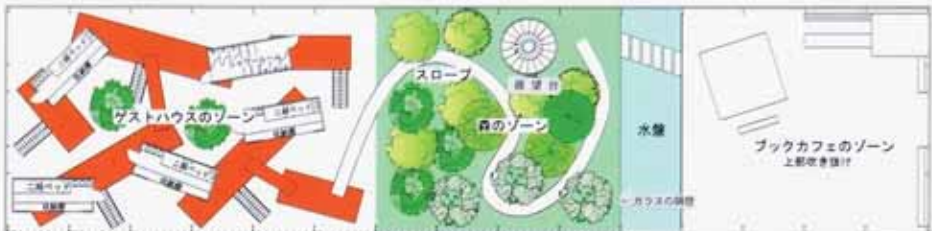
広島市南区宇品港に近い海軍出立は使われなくなった古い倉庫がたくさん残されています。近くには、港と公園があり、明るく気持ちの良い場所です。

古い倉庫の鉄骨のみ残してブックカフェ×森×ゲストハウスにコンバージョンしました。

●ブックカフェのゾーン  
7メートル近い天井高さの大空間を生かした、寛待ちの良いゾーン（地味）です。屋根は自然光を取り入れるガラスに採光調節のルーバーを取り付けました。海側の外壁は全面ガラスです。美しい瀬戸内海の鳥がよく見えます。旅人の朝食とお茶、そして世界中の旅の情報を提供しています。もちろん旅人の交流の場になってほしいです。この部分は「内」と「外」に分ければ「内」になります。

●森のゾーン  
このゾーンは樹木が生い茂っています。屋根も外壁もなくして、数々の柱と梁のみえす。自然光が降り注ぎ、気持ちのよい風も吹きぬけています。水壁を渡り樹木の架のスロープを渡ってゲストハウスのゾーンに降ります。寄り道して階段台に登って遠く高島を見ることが出来ます。この部分は「内」と「外」に分ければ「外」になります。

●ゲストハウスのゾーン  
このゾーンの屋根は鉄骨骨組みを残し日差しが強い日は水平カーテンを降ります。11個の古い船形コンテナの内部を改造して低料金で宿泊できるようにしました。各コンテナはドミトリーになっています。大きなコンテナは10人部屋、小さなコンテナは4人部屋です。（一つのコンテナは洗面・便所・浴室にリノベーションしました）これらのコンテナのルールを決めないで無秩序に配置しました。世界中の旅人が集まる場所にならわしい**予測不可能なゾーン**を築きました。この部分は「内」と「外」に分ければ**中**「外」になります。



コンテナのゲストハウスを空から見る。屋根は付けていない



目隠し用のカーテンを一部閉めた状態



森の中のスロープで人と人が大接近



水壁を奥から見る



ブックカフェ室内

